

これまでの取組

青垣地域小中学校では、平成29年度から「コミュニティ・スクール」をスタートさせます。

現在、学校運営協議会準備委員会を設立し、準備を進めているところです。これまでの取組を紹介します。

先進地視察

平成22年度からコミュニティ・スクールに取り組んでおられる、徳島県東みよし町に視察に行ってきました。



お話の中で、以下の2つの効果があったことを紹介していただきました。青垣地域のコミュニティ・スクール導入に向けて、大変参考になりました。

- 地域の方との関わり → 先生以外（地域住民等）の児童に対する評価 → 児童の自己肯定感の高まり → 児童の学習意欲の向上
- いじめ・不登校の減少

熟議

コミュニティ・スクールは、学校と地域の方が、子どもが抱えている課題を共有し、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという、目標やビジョンを共有して子どもたちを育てていくことが大切です。より多くの方の意見を反映させるために、地域懇談会において以下のポイントを踏まえ、熟議を実施しました。

- ①多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
- ②課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
- ③互いの立場や果たすべき役割の理解が深まるとともに、
- ④それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- ⑤個々人が納得して自分の役割を果たす

熟議の様子



テーマについて個人の考えを書く



考えをグループで話す



全体に向けて発表する



似た考えをまとめる

まとめ

テーマ

青垣の子どもにどんなふう育ててほしいか

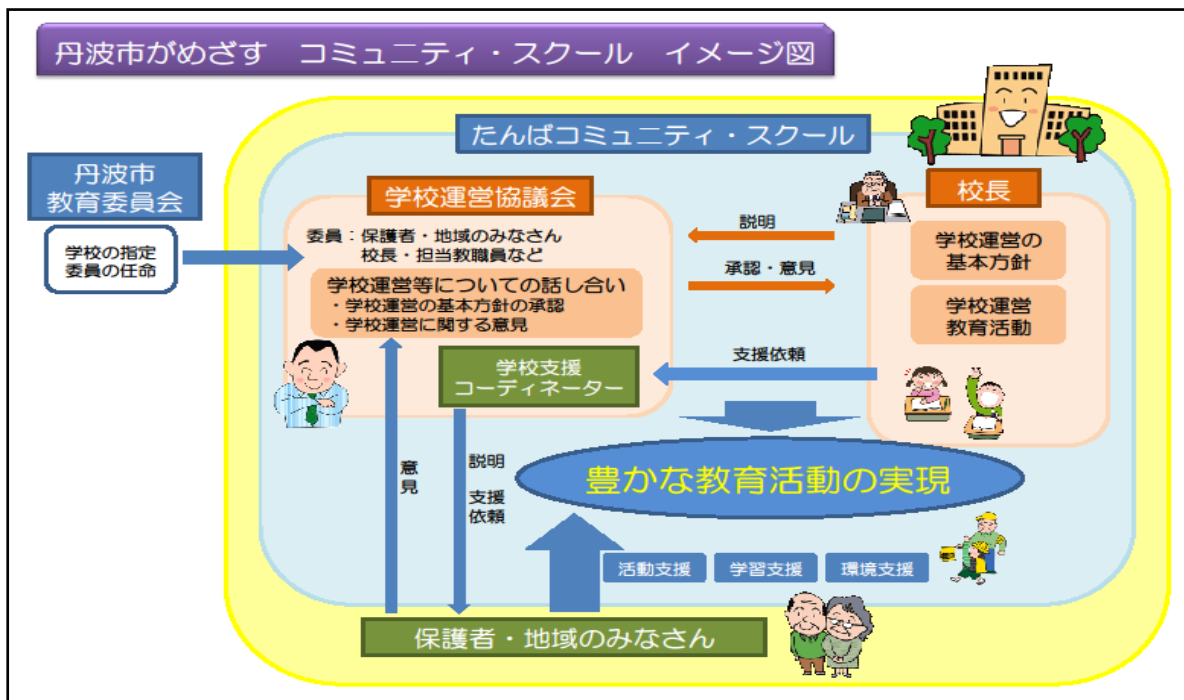
各グループから出た意見のまとめ

- ・ふるさと青垣を愛する子
- ・人を大切にする子
- ・粘り強く積極的にがんばる子
- ・しっかり学ぶ子

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「**地域とともにある学校づくり**」を進める仕組みです。

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするといった取組が行われます。子どもたちの教育活動をより充実させ、自己肯定感や思いやりの心が育つとともに、学校が地域のよりどころとなり、学校を中心としたネットワークが形成されるなど、子どもにとっても地域にとっても魅力のある制度です。



たんばコミュニティ・スクールが実現する教育

学校

- 保護者や地域の方のニーズを迅速かつ的確に把握し、学校運営に反映させることができる。
- 家庭・地域が一体となってより良い教育の実現に取り組むことができる。
- 地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりができる。
- 地域の方や保護者の教育参加により、開かれた学校づくりを進め、地域に根ざした教育活動の充実が図れる。
- 地域支援が得やすくなり、学校教職員だけではできなかった教育活動が可能となることで、教育の多様化と質の向上が図れる。

子ども

- 地域の方や保護者が教育活動を支援することによって、学びが深まるとともに、「社会を生き抜く力」を育む。
- 地域の一員としての自覚を促し、ふるさとを愛し、ふるさとに活力を与える人に育てる。

家庭・地域

- 学校を核とした地域コミュニティの活性化が図れる。
- 教育活動の支援が、自らの経験や学習成果を活用する場となり、「生涯学習社会」の実現につながる。

お知らせ

第2回青垣地域コミュニティ・スクール地域懇談会

熟議を行います。多数のご参加お待ちしております。

日時：11月4日（金）19：30～

場所：青垣住民センター 別館大集会室

お問い合わせ先

〒669-4301 丹波市青垣町佐治 282 番地 3

丹波市立佐治小学校

Tel0795-87-0043

委員長 橋本崇史（学校支援コーディネーター）